



約8,900㎡の敷地に建てられた9棟126戸の鉄骨造2階建て集合住宅

レヴィア広野

REVIA HIRONO

原子力発電関係者のための 長期住居を考えたまちづくり

福島第一原子力発電所の事故に伴い、廃炉や被爆廃材中間処理、火力発電所増設などの従事者が利用する多くの宿泊施設が必要とされている。このため、広野町はパナホーム株式会社と住宅供給を通じたまちづくり事業およびスマートシティ構築に関わる連携協力基本協定を締結。住宅供給不足の改善を図るため、町が所有している下北迫字東町の土地をパナホームに貸与し、集合住宅を整備することが決定された。原子炉作業によっては数十年にわたる長期居住が必要となるため、整備にあたって街区の

景観や動線計画も含めた恒久的でグレードの高い集合住宅が求められた。その結果、パナホームはランドスケープデザインから造成工事、上下水道の整備までを行い、敷地約8,900㎡に鉄骨造2階建て集合住宅を9棟126戸（1K：約25㎡）建設し、30年の定期借家で賃貸することとなった。

建物では高い断熱性能を確保するとともに、各住戸の南側ベランダにはペアガラスサッシを採用することで厳しい冬や夏でも標準装備のエアコン1台で対応できるように設計。また、各棟の屋根には太陽電池モジュールHIT240（228.7kW）を搭載して全量を売電している。



レヴィア広野

所在地／福島県双葉郡広野町下北迫字東町
 事業主／パナホーム株式会社
 設計・施工／パナホーム株式会社
 インフィル工事／パナソニックES建設エンジニアリング株式会社
 太陽光発電設置工事／パナソニックESエンジニアリング株式会社
 竣工／2016年12月
 構造／鉄骨造2階建 126戸



内装コーディネートされた室内では、インターホン、LED照明も標準装備



IHクッキングヒーターを備えたキッチン



ユニットバスルームと洗面ドレッシング



温水洗浄便座



標準装備のエアコン



光対応マルチメディアコンセント



電気温水器



南北につながるフットバス

主な設備

- 住戸内
- ユニットバスルーム
 - 洗面ドレッシング
 - 壁掛けエアコン
 - キッチン
 - IHクッキングヒーター
 - 温水洗浄便座
 - LED照明器具
 - 電気温水器
 - インターホン
 - 内装建材

共用部

- 太陽電池モジュール HIT240
- LED街路灯